あなたの支援が
子どもたちの巣立ちを支えます。

ご不要になった本やファッションアイテム、
使わないポイントなどでもご支援いただけます。

継続寄付会員
1日約100円
1年間の継続支援

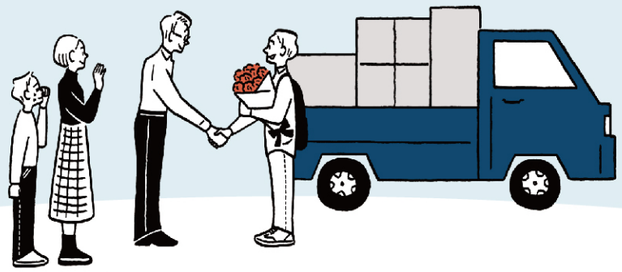
古本などの寄付
不要になった本、CDなど
5冊から可［送料無料］

一般寄付
いつでも自由な金額で

ポイントの寄付
使わないTポイントやベネポポイントで

遺産などの寄付
相続財産やお香典で

生活必需品の寄付
家庭にある新古品や物品購入で



親を頼れないすべての
子どもが
笑顔で暮らせる社会へ

一緒に応援しませんか

子どもたちの巣立ちをご寄付により支えてください。
ブリッジフォースマイルへのご寄付は、税制優遇の対象になります。
ご寄付のお申し出は、電話、メール、ウェブサイトにて承ります。

Tel : 03-6842-6766（平日10時-18時）
Email : info@b4s.jp
URL : https://www.b4s.jp

認定NPO法人 ブリッジフォースマイル
〒107-0062 東京都港区南青山 3-1-30
PASONA SQUARE
東京都認定 NPO29 生都管第 738 号

Annual Report
2021

Bridge for Smile

認定NPO法人 ブリッジフォースマイル

TOPICS

「トドクン」による寄付仲介
18歳の退所時限定から、25歳までを対象に通年実施へ

2020年度にスタートした寄付仲介サイト「トドクン」は、ご寄付によって集めた生活必需品を、希望する子どもたちにマッチングする仕組みです。子どもたちは巣立ち支援プログラムに参加することで貯めたポイントを使って、欲しい寄付品を手にすることができます。

当初は首都圏で開催の一人暮らし準備セミナー「巣立ちプロジェクト」に参加した高校生の退所時に限定して実施していましたが、2021年度からは対象となるプロジェクトを増やし、中学生からポイントを貯められるようにしました。また、寄付品へ交換できる年齢を25歳までとし、子どもたちが必要とするタイミングで必要な物へ交換できるようになりました。

生活必需品を受け取った子どもたちと職員のみなさまからお礼のメッセージをたくさんいただきました。

コロナ禍2年目でも、個別相談件数が激増
76人に家賃補助を実施

退所者に対する緊急支援は、2020年度に引き続き家賃補助支援を実施し、76人に総額約540万円を給付しました。 個別相談件数は、年間でのべ1000件ほど増加。就労に関する相談や金銭に関する相談をはじめ、精神的に落ち込んでしまうメンタルヘルスの相談も増加しました。

一方でコロナ禍も2年目に入ったことで、中高生に対する支援はZOOMを活用したオンラインでのセミナーが増加。パソコンの貸し出しやWi-Fiの設定など、施設のオンライン環境の整備の支援も行いました。

オンラインで行われたセミナーに参加する社会人ボランティアのみなさま。オンラインで実施できるようになったことで、引きこもり傾向だった子どもが参加できたり、東京のプログラムに九州から参加できるなどのメリットもありました。

7年間で124人を奨学金で支援した「カナエール」
最後の奨学生が卒業

「カナエール」は2011年から行っていた奨学金プログラムです。進学を希望する子どもを対象とし、給付型奨学金を支給しました。支給の条件は「スピーチコンテストの舞台に立ち、自分の夢を語ること」。数百人の観客の前で夢を語るというチャレンジが、自己肯定感、進学と夢への意欲を高める機会になると考えた支援でした。

スタート当初は手薄だった奨学金支援制度が充実してきたことから「役割は終えた」と判断し、2017年に奨学生の募集を終了しました。その後は、奨学生の見守り・面談を卒業まで継続。2022年3月に最後の奨学生（東京1名、福岡1名）が卒業をしました。

支えていただいた多くのみなさまに、改めて感謝申し上げます。

カナエールでスピーチをした3人が当時を振り返り「今」を語ってくれました。5～6ページのインタビューをお読みください。

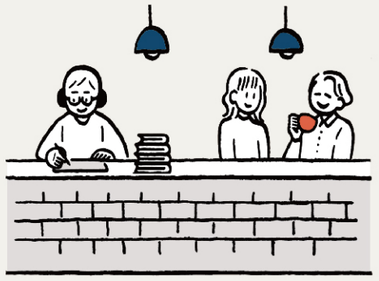
企業と連携した奨学金支援を実施

企業と連携して奨学金支援を実施しています。いずれも、返済不要の給付型奨学金です。

2022年開始のピクテ投信投資顧問株式会社による「グローバル・タレント・プログラム」は、英語を使った仕事をしたい学生が対象です。TOEIC受検やピクテ投信主催のセミナーへの参加を条件に、一人当たり50万円の奨学金を給付しています。

2021年度に第3期生を募集した「東京スター銀行奨学金」は、一人当たり30万円を30名の学生に給付しています。給付の条件は、家計簿で収支を記録して、社会人ボランティアのメンターと振り返り面談を毎月実施すること。1年後には自分でお金を管理できるように「金銭教育プログラム（金トレ）」を行っています。

日本オラクル株式会社は、ITに関わる就労を目指す学生に向けた奨学金支援を行っています。社員の仕事を同行して学ぶ「ジョブシャドウ」を行うことで、仕事への理解と意欲を高めます。



巣立ち支援による実績

前年度に続き、2021年度もコロナ禍における対応が求められました。巣立ち支援においては、公共施設などで実施していたセミナーや企業内で実施していたインターンのオンライン化が定着。遅れていた施設のネット環境も大きく改善され、ITを活用した新しい試みができるようになりました。

各プロジェクトの詳細は、
ウェブサイトでお読みください。

高校３年生向け一人暮らし準備セミナー

巣立ちプロジェクト

参加高校生 257 人

東京、佐賀、熊本で実施

ポイントをためて生活必需品をそろえる

トドクン

仲介商品 955 点

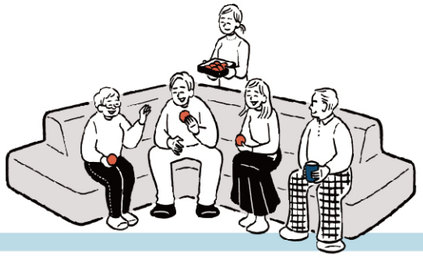
商品の種類 409 種
仲介金額 505 万円相当

身近な理解者と繋がれる＆いつでも立ち寄れる

居場所事業

来場者のべ 1,047 人

３カ所（よこはま Port For、さが・こんね、かたるベースくまもと）

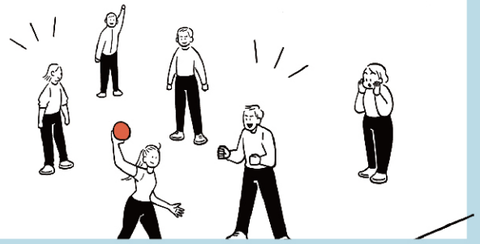


同じ境遇の仲間と集うイベント

アトモプロジェクト

イベント開催回数 19 回・参加退所者 のべ 90 人

コロナ禍のため、うち 18 回をオンラインで開催

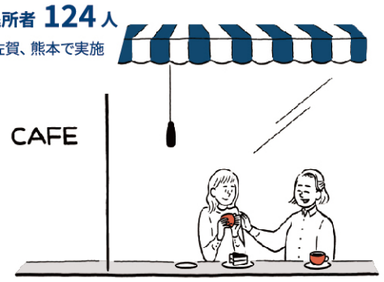


ナナメの関係で気軽に話せる個別サポート

自立ナビゲーション

利用退所者 124 人

東京、佐賀、熊本で実施



学費の不安解消と卒業まで定期的な面談を行う

奨学金支援プログラム

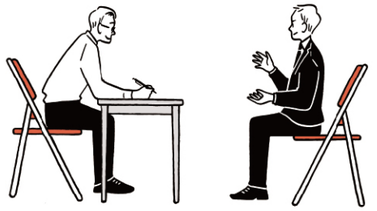
奨学生 20 人、協力企業 3 社

複数の就業体験の後で就職先を決める 就活サポート

ライテミル

利用者49 人、求人票 666 件

その他職業紹介を含む
東京、佐賀、熊本で実施



社会人と一緒に住むシェアハウス事業

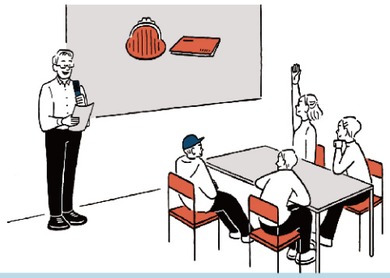
スマイリングプロジェクト

入居者：退所者 のべ 4 人
社会人 のべ 3 人

社会人から楽しく学び巣立ちの不安を解消する

自立支援セミナー

実施回数 120 回・参加者 のべ 953 人



働くイメージを描く１日職業体験

ジョブプラクティス

実施回数 15 回
参加者 のべ 155 人

数日間の就労体験で自分の興味や得意を知る

インターン

実施回数 47 回・参加者 のべ 188 人

その他

個別支援 のべ 5,485 人

カナエールで夢を語った登壇者のいま

カナエールに登壇した若者は 124 人。そのなかから 3 人に、当時のことや、
いま何をしているのかなどを聞きました。

登壇した若者

124人

スピーチイベント実施時期　2011年～2017年
スピーチイベント実施回数　15回（東京7回、横浜4回、福岡4回）
奨学生を支えた社会人ボランティア　約350人
スピーチコンテスト来場者数　約5,000人

祖父母の姿見て「自分も美容師に」いつか、被災地の故郷で

「カナエール2016」横浜会場で登壇した「なっさん」こと沼﨑南月さん（24）。東日本大震災で被災し、親戚宅の里親家庭で暮らしました。震災孤児ながら、高校時代は夏休みなどに帰郷を兼ねて岩手県で被災地支援に取り組んできました。今は、小学生からの夢をかなえるため、一人前の美容師を目指して修業しながら、故郷への思いを募らせます。

理容店を営むおじいちゃん、おばあちゃんの姿を見て、自分も「実家を継ぎたい」と思ったのは小学5年生の時。しかし、卒業間近の2011年3月11日、東日本大震災に遭い、家族を失います。親戚宅に身を寄せ、そのまま里親に。その後も、ずっと夢を追い続けました。

美容専門学校への進学を考えていた高2のころ、学費や生活費など自立に必要な資金をどうするか悩んでいると、児童相談所の担当者がカナエールを紹介してくれました。「社会人ボランティアとか、いろんな人がいて、面白そうだな」。ある体験が、そう思わせました。

高1から、被災地で支援ボランティアに携わるように。横浜の別の高校の教諭に誘われ、横浜で一緒に活動報告したり、被災地支援イベントに参加したり、交流が広がります。「そんな経験もあり、誰かと何かをすることに、抵抗なく、カナエールにも参加できました」。

でも、一時は辞退を考えたことも。他のメンバーのスピーチを聞いて、「自分は生いたちを並べているだけ。内容が薄っぺらすぎる。なぜ、美容師になりたいのか」。自分に問いかけます。そして、一晩で全面的に書き直し、練習を重ね、最後は無事に登壇を果たしました。

しかし、進学後も「もう、やめようか」とのたたかいが続きます。「器用だと勘違いし、なめていた」。そのたび、カナエールでの〝宣言〟が背中を押します。働き始めて4年目。初めてお客さんの「髪を切る」のは来年1月。「いつか、故郷で美容師を」と願いながら。

「なりたい自分」へ子どもたちの背中をそっと押し

「カナエール2014」福岡会場で登壇した「ちーちゃん」こと古賀千聡さん（26）。高1と高3の時に担任だったベテランの先生の人柄にひかれ、高3の時、「小学校の先生」を目指そうと思い立ちました。教壇に立って5年目。熱量の高い先輩や同僚に刺激され、熱い思いで子どもたちと向き合います。

「小学校の先生になろう」。そう決意したものの、里親家庭で、経済的な不安がありました。知り合いの児童養護施設職員にカナエールがあると教えてもらい、見事合格。「奨学金がもらえる」と喜んだのもつかの間、「スピーチ」があると知り、がく然とします。「説明書、完全に読み飛ばしていました」。腹をくくり、社会人ボランティアに励まされ、本番に臨みます。

実際に教壇に立ってみると、スピーチで考えていたのとは違う〝落差〟に気付かされます。「キラキラ輝く塊」のようにイメージしていた子どもたちにも、一人ひとり「いろんな現実」が立ちはだかり、そして、一人の教師として、できることにも限界があること、を。

子どもの「夢」に対し、「安易に背中を押さない」といいます。「〝夢〟というより、その子の〝なりたい自分〟かな。しっかり耳を傾け、具体像を探り、道筋を一緒に考える。たとえ失敗しても、努力は無駄にならないから」。一緒に〝なりたい教師〟像も探っています。

「誰かのため」　社会人ボランティアから受け継いだ思い、今も

「オリンピックトレーナーを目指します」。カナエールで、こうスピーチしたのは、高校卒業まもない19歳の時。児童養護施設にいたころから、ブリッジフォースマイルの「巣立ちプロジェクト」など、さまざまな行事に積極的に参加し、その1つがカナエールでした。

高校時代、レスリングの県大会で優勝し、五輪の強化選手に選ばれます。「オリンピック出場」の夢をかなえるため強豪大学への進学を目指すも、学費面などで断念。「スポーツトレーナー」になろうと気持ちを切り替え、専門学校に進むため、カナエールに挑戦しました。

今はトレーナーとして好成績を収め、「全国1位」を目指す気持ちで頑張っています。根っこには「自分が成功したい」ではなく、トレーニングで「誰かを成功させたい」との思いがあります。カナエールの社会人ボランティアに励まされ、公園でスピーチ練習を重ねた日々。「自分のため、一生懸命になってくれた」その姿に、「いつか、自分も」と感じた思いを今も抱き続けます。

「カナエール2015」東京会場で登壇した「チャンプ」こと君塚龍二さん（26）。現在は、世界展開する米国発祥のフィットネスクラブのトレーナー（パーソナルトレーナー）として6年目を迎える一方、「何かを成功させたい」というあのころの思いを胸に、新たな夢を見すえます。

インタビューの続きは、ウェブサイトでお読みいただけます。

ご協力いただいた企業・団体について

2021 年度は 156 の企業・団体のみなさまにバックアップしていただきました。
いつも、あたたかいご支援をありがとうございます。

156

協賛企業・団体

RBCキャピタルマーケッツ証券会社〈資金協賛、ファンドレイジング支援〉
株式会社ITXジャパン〈物品協賛、プログラム協力〉
株式会社 AOKI〈物品協賛〉
合同会社 Aguramiu〈資金協賛〉
アコム株式会社〈資金協賛、プログラム協力〉
株式会社アップルツリーファクトリー〈資金協賛〉
アドビ株式会社〈資金協賛、プログラム協力、ファンドレイジング支援〉
アライアンス・バーンスタイン株式会社(資金協賛、プログラム協力、ファンドレイジング支援〉
有限会社石川商店〈物品協賛〉
株式会社INPEX〈資金協賛〉
株式会社ウェルカム〈物品協賛〉
SAPジャパン株式会社〈資金協賛、プログラム協力〉
SCSK 株式会社〈資金協賛、ファンドレイジング支援〉
SCSKグループ社会貢献活動クラブEarth One〈資金協賛、ファンドレイジング支援〉
株式会社Espriet〈資金協賛〉
オービス・インベストメンツ株式会社〈資金協賛〉
岡本株式会社〈物品協賛〉
カーブス横浜伊勢佐木町〈物品協賛〉
カルビー株式会社〈資金協賛、物品協賛、プログラム協力〉
一般社団法人熊本県こども食堂ネットワーク〈物品協賛〉
熊本市下通四番街商店街振興組合〈物品協賛〉
クリエイトエフホールディングス株式会社〈資金協賛〉
グンゼ株式会社〈物品協賛〉
こうご動物病院〈資金協賛、プログラム協力〉
ザ・リッツ・カールトン東京〈資金協賛、プログラム協力、ファンドレイジング支援〉
三洋貿易株式会社〈資金協賛〉
株式会社 JSOL〈物品協賛、プログラム協力、ファンドレイジング支援〉
シチズン時計株式会社〈物品協賛、プログラム協力〉
株式会社 SynaBiz〈資金協賛〉
シュウウエムラコスメティックス株式会社〈物品協賛、プログラム協力〉
重光産業株式会社〈物品協賛〉
住友重機械工業株式会社〈資金協賛〉
ジョーンズラングラサール株式会社〈物品協賛〉
株式会社スタイルテック〈資金協賛〉
Slack Japan 株式会社〈資金協賛、ファンドレイジング支援〉
立花証券株式会社〈物品協賛〉
株式会社電通テック〈物品協賛〉
株式会社ドリームゲート〈資金協賛〉
西松建設株式会社〈物品協賛〉
日本オラクル株式会社〈資金協賛、プログラム協力、ファンドレイジング支援〉
日本ロレアル株式会社〈物品協賛、プログラム協力〉
ネットワンシステムズ株式会社〈物品協賛、ファンドレイジング支援〉
ByteDance 株式会社〈資金協賛〉
株式会社ハウス オブ ローゼ〈物品協賛〉
BNYメロン〈資金協賛、プログラム協力〉
ピクテ投信投資顧問株式会社〈資金協賛、プログラム協力〉
BIPROGY 株式会社〈資金協賛、ファンドレイジング支援〉
BIPROGYグループ社会貢献クラブ「ユニハート」〈資金協賛、ファンドレイジング支援〉
フードバンク熊本〈物品協賛〉
フードバンクひのくに〈物品協賛〉
株式会社フタバ〈物品協賛〉
株式会社ベネフィット・ワン〈資金協賛、ファンドレイジング支援〉
ヘンケルジャパン株式会社〈資金協賛〉
まちびと会社 ビジョナリアル〈物品協賛〉
株式会社ミサワ〈物品協賛〉
三井住友海上あいおい生命保険株式会社〈資金協賛〉
有限会社宮田徳彦農場〈資金協賛、物品協賛〉
むさし証券株式会社〈物品協賛〉
メンターキャピタル税理士法人〈資金協賛〉
モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社〈資金協賛、プログラム協力〉
有幸建設株式会社〈資金協賛〉
特定非活動支援法人　優里の会〈物品協賛〉
株式会社ヨコオ〈物品協賛〉
社会福祉法人横浜市西区社会福祉協議会〈物品協賛〉
一般財団法人リプレット基金事業財団〈資金協賛〉
外国法共同事業法律事務所 リンクレーターズ〈資金協賛、ファンドレイジング支援〉

協力企業・団体

株式会社アーバンファーム八王子〈プログラム協力〉
株式会社アールキューブ〈プログラム協力〉
株式会社アセットマネジメント〈プログラム協力〉
株式会社アノー〈プログラム協力〉
イラストレーター 植木美江〈プログラム協力〉
visit.org〈プログラム協力〉
株式会社 With Pet Family〈プログラム協力〉
株式会社 植松建設〈プログラム協力〉
ANA あきんど株式会社　佐賀支店〈プログラム協力〉
株式会社エコ配〈プログラム協力〉
エネラボ株式会社〈ファンドレイジング支援〉
株式会社 FCC〈プログラム協力〉
株式会社エムクリーンサービス〈プログラム協力〉
MKTG ジャパン合同会社〈プログラム協力〉
オン・セミコンダクター株式会社〈プログラム協力〉
花王株式会社〈ファンドレイジング支援〉
着つけ隊〈プログラム協力〉
Gap ジャパン株式会社〈プログラム協力、ファンドレイジング支援〉
特定非営利活動法人 Class for Everyone〈プログラム協力〉
株式会社 craft〈プログラム協力〉
グランデはがくれ〈プログラム協力〉
有限会社クリアスペース（ダスキン新百合ヶ丘）〈プログラム協力〉
月刊ぷらざ〈プログラム協力〉
特別養護老人ホーム 好日の園〈プログラム協力〉
こどもの本屋 てんしん書房〈プログラム協力〉
認定 NPO 法人こまちぷらす〈プログラム協力〉
特定非営利活動法人サービスグラント〈プログラム協力〉
在日英国商業会議所〈ファンドレイジング支援〉
サイボウズ株式会社〈プログラム協力、組織運営支援〉
佐賀県畜産課〈プログラム協力〉
佐賀女子短期大学〈プログラム協力〉
株式会社 佐賀新聞社〈プログラム協力〉
佐川急便株式会社〈プログラム協力〉
一般社団法人 the GIFT〈プログラム協力〉
ザ・プロアクティブカンパニー株式会社〈プログラム協力〉
株式会社 Sun Asterisk〈組織運営支援〉
株式会社サンケイビル〈ファンドレイジング支援〉
社会福祉法人三幸〈プログラム協力〉
サンコーライフサポート〈プログラム協力〉
サンセイランディック〈ファンドレイジング支援〉
下高井戸シネマ〈プログラム協力〉
認定 NPO 法人 JUON(樹恩) NETWORK〈プログラム協力〉
株式会社辰グループ〈プログラム協力〉
株式会社新日本環境〈プログラム協力〉
真如苑〈ファンドレイジング支援〉
スギコー株式会社〈プログラム協力〉
スタートライングループ株式会社〈プログラム協力〉
株式会社セールスフォース・ジャパン〈ファンドレイジング支援〉
セカンドハーベスト・ジャパン（認定 NPO 法人）〈ファンドレイジング支援〉
株式会社ゼロイン〈プログラム協力〉
株式会社 田中設計事務所〈プログラム協力〉
株式会社ディスタント・ビュー〈プログラム協力〉
でみ café〈プログラム協力〉
株式会社東京スター銀行〈プログラム協力〉
東芝 IT コントロールシステム株式会社〈ファンドレイジング支援〉
株式会社トーヨーアサノ〈プログラム協力〉
NPO 法人ドットジェイピー〈組織運営支援〉
株式会社ナチュラルスタンス〈プログラム協力、ファンドレイジング支援〉
認定 NPO 法人 日本国際ボランティアセンター（JVC）〈プログラム協力〉
日本自動ドア株式会社〈プログラム協力〉
日本証券業協会〈ファンドレイジング支援〉
ハイアット セントリック 銀座 東京〈プログラム協力〉
バクスター株式会社〈プログラム協力〉
株式会社パソナグループ〈組織運営支援、環境設備支援〉
公益財団法人パブリックリソース財団〈ファンドレイジング支援〉
株式会社バリューブックス〈ファンドレイジング支援〉
PwC Japan グループ〈プログラム協力、組織運営支援〉
合同会社 PVH ジャパン〈プログラム協力〉
株式会社 biima〈プログラム協力〉
日野・子どもと家族法律事務所〈プログラム協力〉
ビムコジャパンリミテッド〈プログラム協力〉
株式会社ビルド・バリュー〈プログラム協力〉
フィッチ・レーティングス・ジャパン株式会社〈プログラム協力〉
株式会社フジテレビジョン〈プログラム協力〉
ふじみ野腎クリニック（医療法人　瑞友会）〈プログラム協力〉
プリモ・ジャパン株式会社〈プログラム協力〉
ヘアサロン大野〈プログラム協力〉
漫画家 鈴峰あおい〈プログラム協力〉
三井住友海上火災保険株式会社〈ファンドレイジング支援〉
三菱食品株式会社〈プログラム協力〉
株式会社メテム〈環境設備支援〉
株式会社 more〈プログラム協力〉
ヤフー株式会社（Yahoo! ネット募金）〈ファンドレイジング支援〉
株式会社ユニスタイル〈プログラム協力〉
公益財団法人横浜 YWCA〈プログラム協力〉
株式会社ラホス〈プログラム協力〉
ラ・ロシェル〈プログラム協力〉
株式会社るるカンパニー〈プログラム協力〉
ロワール商会株式会社〈プログラム協力〉
株式会社ワールドライブラリー〈ファンドレイジング支援〉

会計報告 (2022年3月31日現在)

活動計算書

(単位：円)

経常収益		
受取会費		705,000
受取寄付金		81,690,103
受取助成金		9,656,958
事業収益		87,213,709
その他収益		921,973
経常収益計		**180,187,743**

経常費用		
事業費	人件費	88,146,483
	その他費用	71,144,718
管理費	人件費	9,863,486
	その他費用	2,521,878
経常費用計		**171,676,565**

当期経常増減額	**8,511,178**

貸借対照表

(単位：円)

資産の部	
流動資産	
現金	186,535
普通預金	25,776,729
定期預金	85,045,672
未収金	15,181,671
棚卸し資産	1,286,428
貯蔵品	75,000
前払費用	684,255
立替金	3,000
仮払金	0
流動資産合計	**128,239,290**
固定資産	
有形固定資産	402,275
無形固定資産	1,967,167
その他の資産	29,653,800
固定資産合計	**32,023,242**
資産合計	**160,262,532**

負債の部	
流動負債	
未払い金	4,276,020
前受け金	3,222,200
源泉預り金	144,886
住民税預り金	167,400
仮受金	3,000
社保預り金	966,237
雇用保険預り金	229,288
未払い法人税	306,500
未払い消費税等	3,299,200
預り金	0
流動負債合計	**12,614,731**
固定負債	
長期借入金	300,000
受入保証金	470,000
奨学金引当金	1,050,000
特別奨学金引当金	1,460,000
固定負債合計	**3,280,000**
正味財産の部	
指定正味財産	44,712,648
一般正味財産	99,655,153
正味財産合計	**144,367,801**
負債及び正味資産合計	**160,262,532**

ごあいさつ

2022年4月、成人年齢が18歳に引き下げられました。6月には「自立支援は原則18歳（最長22歳）まで」となっていた年齢上限を撤廃する改正児童福祉法が成立しました。2年後には全ての都道府県に退所後支援を行う事業所の設置が義務付けられます。自立支援、退所後支援に関わる環境は大きく変わりつつあります。

奨学金制度を始め、社会的養護出身者の生活を支えるさまざまな支援制度が整ってきたことは本当に嬉しいことです。今後は、それらをいかに活かし、定着させていく支援ができるかが求められていますが、施設間や地域間の格差が広がる可能性もあります。私たち自身、拡大する支援ニーズに対応するためには、人材確保・育成や、財政基盤の強化も欠かせません。大きな変化に対応できるよう、しっかり取り組んでまいります。引き続き、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

代表　林 恵子

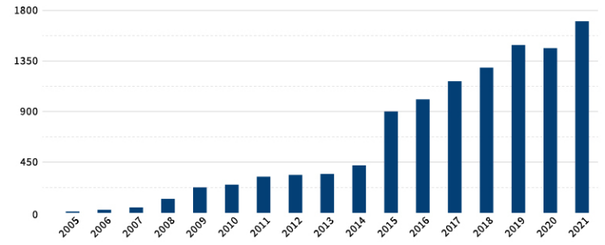
活動のあゆみ

ブリッジフォースマイルの活動は、多くの方に支えられています。

[プログラム利用者数]

2021 年度

1721 人



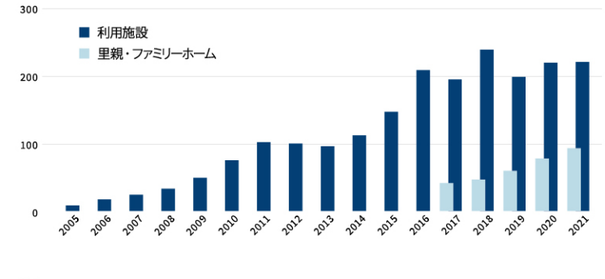
[プログラム利用施設 / 里親数]

2021 年度

利用施設 223

里親・ファミリーホーム 94

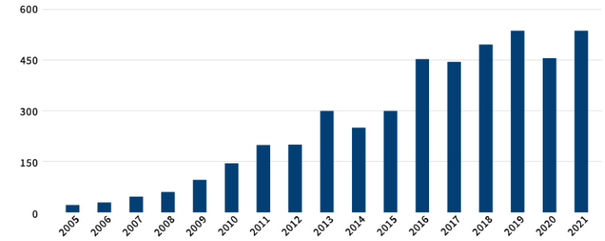
利用施設内訳：児童養護施設 180、自立援助ホーム 30、児童心理治療施設 5、児童自立支援施設 4、母子生活支援施設 4



[ボランティア登録者数]

2021 年度

534 人



[スキルアップ研修] 実施回数 41 回　参加者 のべ 523 人

[施設職員・里親向けセミナー] 実施回数 11 回　参加者 のべ 165 人（東京・横浜・熊本で実施）

団体概要

名称	特定非営利活動法人ブリッジフォースマイル（東京都認定NPO29生都管第738号）	
URL	https://www.b4s.jp	
Email	info@b4s.jp	
本部	東京都港区南青山 3-1-30 PASONA SQUARE	☎ 03-6842-6766
横浜オフィス	神奈川県横浜市西区高島 2-5-5-203	☎ 045-548-8011
佐賀オフィス	佐賀県佐賀市駅南本町 5-5-506	☎ 0952-26-8166
熊本オフィス	熊本県熊本市中央区辛島町 6-2-901	☎ 070-1219-9757

役員（2022 年 6 月 30 日現在）

理事　林恵子（理事長）、菅原亜弥（副理事長）
福島百合香、武田智成、鈴木匠、藤井明子、纐纈順史、川尻未来

監事　藤田正男、石本忠次

会員数など（2022 年 3 月 31 日現在）

事務局スタッフ　49 人（常勤 31 人）／正会員数　24 人／継続寄付会員数　個人 477 人